

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

政策	4 まちなかの魅力向上により賑わい創出を推進します
----	---------------------------

施策	1 まちなかの賑わいを生み出すイベントの推進
----	------------------------

施策の目的	静岡まつり、安倍川花火大会、清水みなと祭り、大道芸ワールドカップを主としたイベントのほか、商店街等の団体が創意工夫し、中心市街地を主として各種のイベントを開催することで、まちなかの魅力を向上させ、賑わいの創出を推進することで交流人口の増加を図ります。
-------	---

評価責任者	所属	観光交流文化局 まちは劇場推進課
	氏名	課長 萩原さほり

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	令和元年度は成果指標に含まれるイベントの内、「安倍川花火大会」が台風接近のため、また「静岡おでん祭」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、結果として目標値を下回ることとなった。しかし、それ以外のイベントについては例年並み又はそれ以上の入込客数を得ており、中心市街地の主要イベント全体として捉えれば、まちなかの賑わいを生み出すという目的を十分に果たしていることから、総合評価としては「A」とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	2	3	4		
成果指標	中心市街地主要イベント延開催数 （大道芸ワールドカップin静岡、シズオカ×カンヌウィーク等） （回／年）	56	1	17	15	88.0%	b	平成27年度から30年度の中心市街地における主要イベント開催数を基準とし、新規イベントの創出を見込み算出した。
			2	17	—	—	—	
			3	15	—	—	—	
			4	16	—	—	—	
	中心市街地主要イベント延集客数 （大道芸ワールドカップin静岡、シズオカ×カンヌウィーク等） （千人／年）	19,500	1	5,155	4,737	91%	b	平成27年度から30年度の中心市街地における主要イベント入込客数の平均値を基準とし、周年イベントや開催日増による入込客数の増を見込んで算出した。
			2	5,145	—	—	—	
			3	5,315	—	—	—	
			4	5,135	—	—	—	
指標成果以外の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
ナイトエンターテイメント「駿府灯り回廊」事業	ライトアップを中心としたナイトエンターテイメントの開催	2	1	15,000	0	15,000	0.3	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
賑わい創出イベントの推進	①静岡まつり(4月)、スチカ×カヌー(5月)、安倍川花火大会(7月)、高等学校応援団フェスティバル(6月)、清水みなと祭り(8月)、大道芸ワールドカップin静岡(11月)。静岡おでん祭(3月)の実施 ②中心市街地にぎわい創出事業補助金の交付 ③富士山コスプレ世界大会補助金の交付	1	1	326,673	0	241,932	7.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
ストレンジシード開催事業	駿府城公園及び周辺市街地を舞台とした演劇・ダンスイベント「ストレンジシード」の開催	3	1	27,000	0	27,000	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	なし	
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

政策	4 まちなかの魅力向上により賑わい創出を推進します
----	---------------------------

施策	2 まちづくり人材、組織の活動支援
----	-------------------

施策の目的	まちなかの魅力向上や賑わい創出を図るには、多様な主体がそれぞれの強みを生かして自立的に事業を実施していくことが有効です。これまでの主な担い手であった商店街に加え、有志の商業者グループやまちづくり団体など、まちづくりの新たな担い手となる人材・組織の活動支援を行い、魅力あふれるまちの創出を目指します。
-------	---

評価責任者	所属	経済局 商工部 商業労政課
	氏名	課長 気田 敏弘

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	7件	7件	100.0%	a	
成果指標	市支援策を受けたまちづくり組織の活動数	7件 (H30実績値)	2	7件	—	—	—	直近3か年の実績値（H28：4件、H29：5件、H30：7件） 【年間目標値】 商業活性化グループ事業補助金を活用したまちづくり組織の活動が毎年度7件（最大実施可能件数8件の8割程度）実施されることを目指す。
			3	7件	—	—	—	
			4	7件	—	—	—	
			1					
成果指標			2					
			3					
			4					
			1					
成果指標			2					
			3					
			4					
			1					
指標成果以外の			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
I Loveしずおか協議会との連携	①I Loveしずおか協議会の各部会への参画 ②I Loveしずおか協議会主催イベントへの参加	1	1	0	0	0	0.7	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
新たな商業グループの活動への助成	①商業活性化グループ事業への助成	1	1	4,000	0	2,866	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
商店街への助言サポートの推進	①商店街団体へのアドバイザーの派遣 ②商店街団体との意見交換会での講演会の実施	3	1	200	0	0	0.1	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2月以降のイベント開催が困難であった。イベント開催等における感染防止対策の徹底と、まちの賑わい創出のための活動の両立が課題である。	新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、各まちづくり組織等に寄り添って、感染防止対策を徹底したイベントの実施やまちづくり人材の育成活動を支援していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

政策	4 まちなかの魅力向上により賑わい創出を推進します
----	---------------------------

施策	3 清水港ウォーターフロントの賑わいづくり
----	-----------------------

施策の目的	清水港周辺地区の魅力を高め、ウォーターフロントから地域経済の活性化が進む港町・清水の賑わい創出を図るためには、海洋文化拠点構想をはじめ、清水港を基軸に取り組み賑わい創出に向けた関連事業を有機的に結び付けていく必要があります。特に平成27年度に設置された「清水都心ウォーターフロント地区開発推進会議」では、魅力ある港にするための開発基本方針の策定や国際クルーズ旅客受入機能高度化施設整備事業の推進などによるみなとまちづくりが官民連携で進められています。こうした清水港ウォーターフロントの賑わいづくりに向けた関連事業を局間連携により推進します。
-------	--

評価責任者	所属	経済局 海洋文化都市推進本部
	氏名	次長 野村 一正

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業のうち清水港開港120周年記念事業、清水港客船誘致事業については、成果指標の達成評価はSであるが、海洋文化施設整備事業について、成果指標がAであるため、総合評価はAとした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	20%	15%	75.0%	a	
海洋文化施設建設事業の進捗	—	—	2	20%	—	—	—	建設事業期間（R1～R5）の事業進捗状況を各年度20%ずつ進捗するものとし、目標値として設定した。 【評価理由】 業務件数8件（用地取得等3件、地盤調査等調査4件、PFI事業者公募業務1件）を全件実施したが、一部業務が年度内完了に至らず、繰越事業となったことから、成果指標の達成率は75%である。しかし、事業者公募の開始、用地取得契約行為は達成しており、着実に事業を実施しているためA評価とする。
			3	20%	—	—	—	
			4	20%	—	—	—	
			1	100,000人	105,518人	105.5%	s	
「開港祭」の来場者数	—	—	2	—	—	—	開港100周年実績＝140万人 今回の予算規模×1/2＝70万人 うち清水みなと祭りが60万人 残り10万人を120周年目標値として設定した。	
			3	—	—	—		
			4	—	—	—		
			1	22	40	181.8%		s
客船等寄港数	40隻 (R1年度)	—	2	11	—	—	指標としている寄港数は、コロナ禍による政府の入国制限等に左右されるため、令和元年度の目標値を現状維持とし目標を設定。 ※令和2年度については、上半期の寄港実績が0のため、下半期の目標値を1/2として定めた。 【外的要因】新型コロナウイルス感染症の動向に左右される。	
			3	22	—	—		
			4	22	—	—		
			1	現状維持	34,094	106.7%		s
清水の中心市街地の歩行者通行量	25,670人 (平成28年度)	—	2	現状維持	—	—	平成28年度調査※における清水の中心市街地の歩行者通行量（25,670人）を現状維持とし目標を設定。 ※静岡市中心市街地活性化検討協議会（事務局：静岡市商工会議所 清水事務所）実施調査「歩行者交通量・まちなかアンケート」報告書	
			3	現状維持	—	—		
			4	現状維持	—	—		

指標以外の
 ・清水港開港120周年事業では、上記の開港祭以外にも、①120周年記念式典（令和元年8月4日）、②海フェスタしずおか（令和元年7月13日～8月4日）、③折戸湾環境創造プロジェクト（平成31年4月20・21日、令和元年8月24日、9月28・29日）、④120周年記念シンポジウム（令和2年2月1日）、⑤クリーンアップ作戦@三保内浜（令和2年2月22日）等の主催事業及び連携事業を実施した結果、来場者及び参加者数は合計1,565,864人となり、市民をはじめとする多くの方々に対して、清水港の魅力を情報発信し、そして清水港長期構想等の発信を通じて、20年後の目指す姿を共有し、次世代に向けた第一歩を踏み出した。

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
海洋文化施設整備事業	海洋文化拠点施設整備に向け下記のとおり実施 令和1年度 ①建設用地の取得と建物補償 " ②建設用地の地盤等調査 " ③PFI事業者選定	1	1	1,413,930	—	1,007,053	3.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水港開港120周年記念事業	清水港開港120周年記念式典、シンポジウム、企画展等の開催	1	1	45,000	0	45,000	2.0	0.0	0.5	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水港海づり公園整備事業 ※平成29年度までは、「清水港海づり公園代替施設再整備事業」	清水港海づり公園の整備 H28年度 基本計画策定、整備候補地の決定 H29年度 基本設計 H30年度 詳細設計、栈橋部分基礎工 R1年度 栈橋部分基礎工	2	1	402,000	0	160,200	1.2	0.0	0.0	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
みなとオアシス運営事業	情報発信拠点の管理、オアシスイベント等の実施	3	1	5,593	0	5,369	0.3	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水港客船誘致の推進	客船・帆船の誘致活動、寄港時における歓迎イベントの開催	2	1	56,385	0	56,385	1.5	0.5	0.5	◎
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
駿河湾フェリー運航支援事業	駿河湾フェリーの運航及び環駿河湾観光交流活性化協議会に係る経費の負担並びに利用促進事業	3	1	25,800	0	21,978	1.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水港・みなと色彩計画の推進	①清水港・みなと色彩計画推進協議会（事務局は海洋文化都市推進本部）への負担金の交付 ②清水港・みなと色彩計画推進協議会による各事業の実施（色彩協議、協議会・アドバイザー会議・色彩セミナーの開催、色彩計画PR活動等）	3	1	1,056	0	1,056	2.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（フリトラ市の開催）	①清水フリトラ市の開催（毎月第2日曜日） ②清水港線遊歩道の賑わい創出に向けたPR活動（広報）の実施（以上 R元年度）	5	1	2,200	0	2,200	0.3	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（清水港線跡遊歩道整備）	①島崎町交差点整備に向けた地元住民及び道路管理者、交通管理者との協議実施（R1年度） ②江尻側エントランス広場整備のための用地取得（R2年度） ③エントランス広場及び交差点整備の実施設計（R2年度） ④エントランス広場及び交差点の整備（R2年度）	2	1	0	0	0	2.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（WF地区デザイン提案検討）	①地区としての一体的な方向性を持った都市デザインの提案・検討（以上 R元年度）	2	1	5,000	0	4,829	0.6	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（光の景観まちづくり）	①ライトアップ・イルミネーション事業の実施（R1年度～） ②夜景フォトコンテストの開催（R1年度）	4	1	25,222	0	21,283	1.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた社会経済状況に対応するため、海洋文化施設整備事業の事務手続きを一時停止し、事業の見直しを行う必要が生じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者が参画しやすい公募条件や要求水準書等を精査、検討し、PFI事業としての成立の目途が立った段階で、早期の再開を目指す。
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏以降の台風や天候不順により海況が悪化し、欠航が増えた。また令和2年2月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、乗船客も軒並み減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により団体のバス旅行の需要が低下し、乗船客も減少したが、修学旅行や教育旅行の誘致に力を入れ、団体乗船客の増加を図りたい。 ・利用促進事業として、県や一社の半額・無料キャンペーンと連動し、本市独自事業である市内小学生無料乗船キャンペーンを保護者まで対象を広げ、利用してもらいやすい仕組みとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・清水都心ウォーターフロント活性化推進事業では、フリトラ市やイルミネーションの開催時には一定のにぎわいがあるが、平常時、通勤・通学以外の自転車・歩行者通行量は多いとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清水庁舎や新病院移転の動向に注視しつつ、効果的な回遊性向上施策、イベントを実施することで、清水都心ウォーターフロント地区の活性化につなげていく、
	<ul style="list-style-type: none"> 屋外イベントであったため、天候不良時の対応に難儀した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の構築時には、雨天時の対応策も同時に検討する。
令和2年度	-	-
令和3年度	-	-
令和4年度	-	-